



地域をまるごとケアする支援の取組み

和が家グループ 代表 直井 誠

経歴



■デイサービス運営

- 和が家の古民家デイいぶき(伊奈町)
- 和が家の学校(桶川市) ※分社化
- 和が家のくらしとシゴトバデイうるひら(蓮田市)
- ひかりサロン蓮田(蓮田市)

■研修講師や地域活動

- 認知症ケア&予防研修
- 認知症の紙芝居講座
- 認知症予防ゲーム講座
- ブレインマネジャー講座
- 見守り合い活動支援
- 映画の自主上映会

■来歴

- 大学時代 世界中を放浪し、ボランティアし、多様性のある世界に影響を受ける。
- 20代前半 大卒後、発展途上国等海外で勤務し、「教育の大切さ」を痛感する。
- 20代後半 リクルートで教育事業に従事し、「生き方」「あり方」の大切さ・考え方を学ぶ。
- 30代前半 友人と教育事業を起業し、起業展開と地域密着事業を学ぶ。
- 30代後半 介護事業を起業し、認知症ケアの深さにのめり込み、没頭。日々BPSD対応。
- 40代中盤 今は予防や地域づくり、共生社会づくりへと派生している。

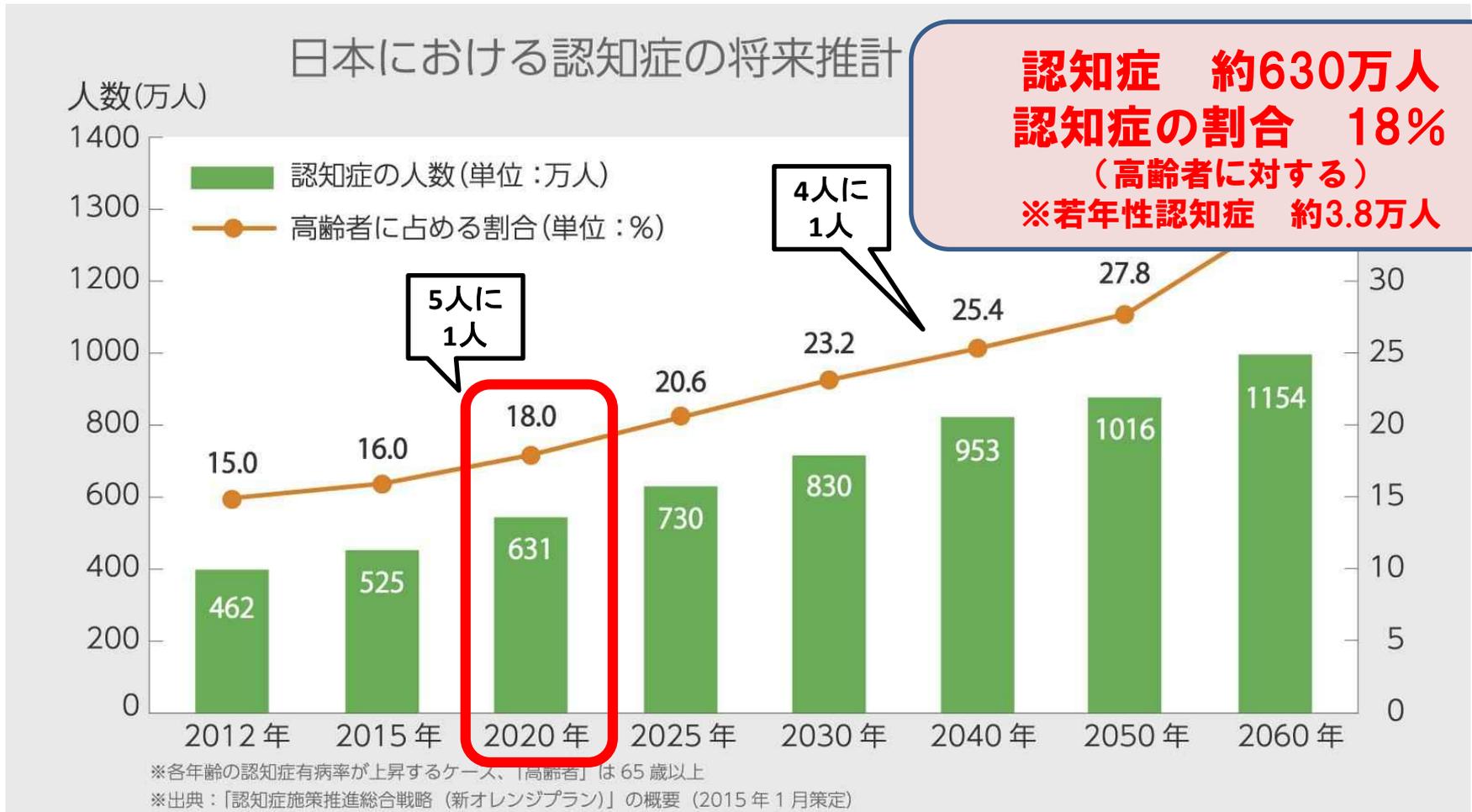
- 「地域ケア×認知症予防ケア×認知症ケア」の3つのケアを並行して、上尾市、伊奈町、蓮田市、白岡市、桶川市のエリアで活動中です。



和が家グループ 代表 直井 誠
(介護福祉士・介護支援専門員)

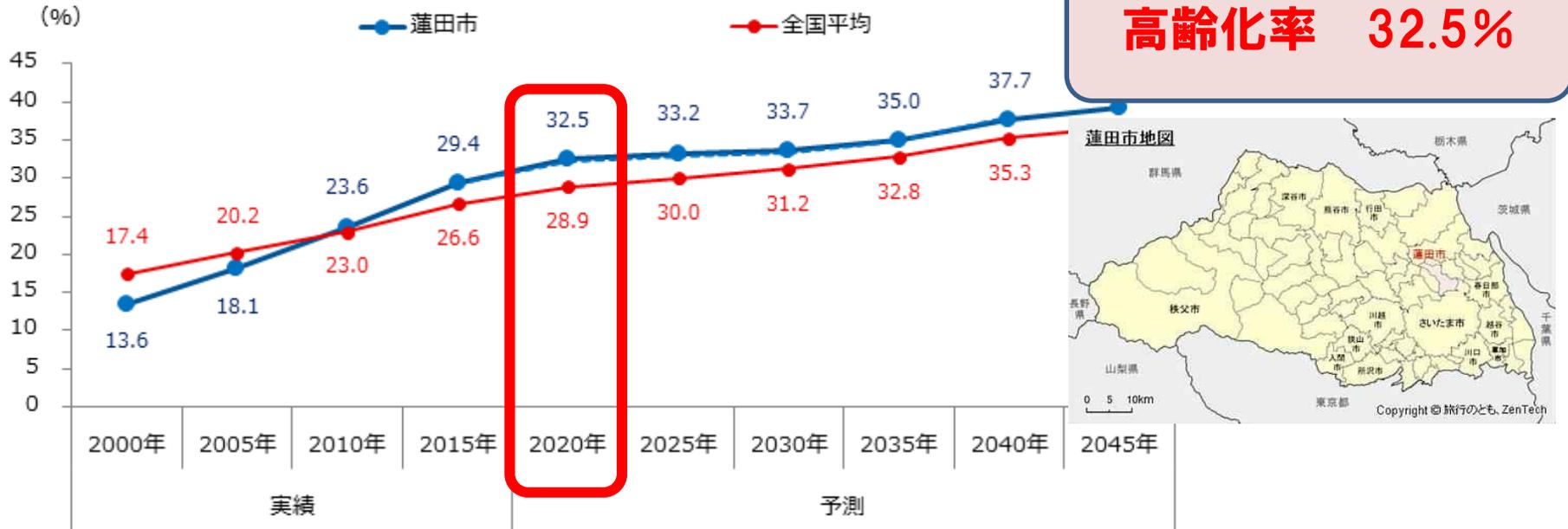
■全国の認知症の人数

【現状把握】



**認知症は増えることはあっても、減ることはない。
毎年約20万人増えていく予測。**

蓮田市の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口にしめる65歳以上の人口割合（%），年齢不詳を除いて算出

※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

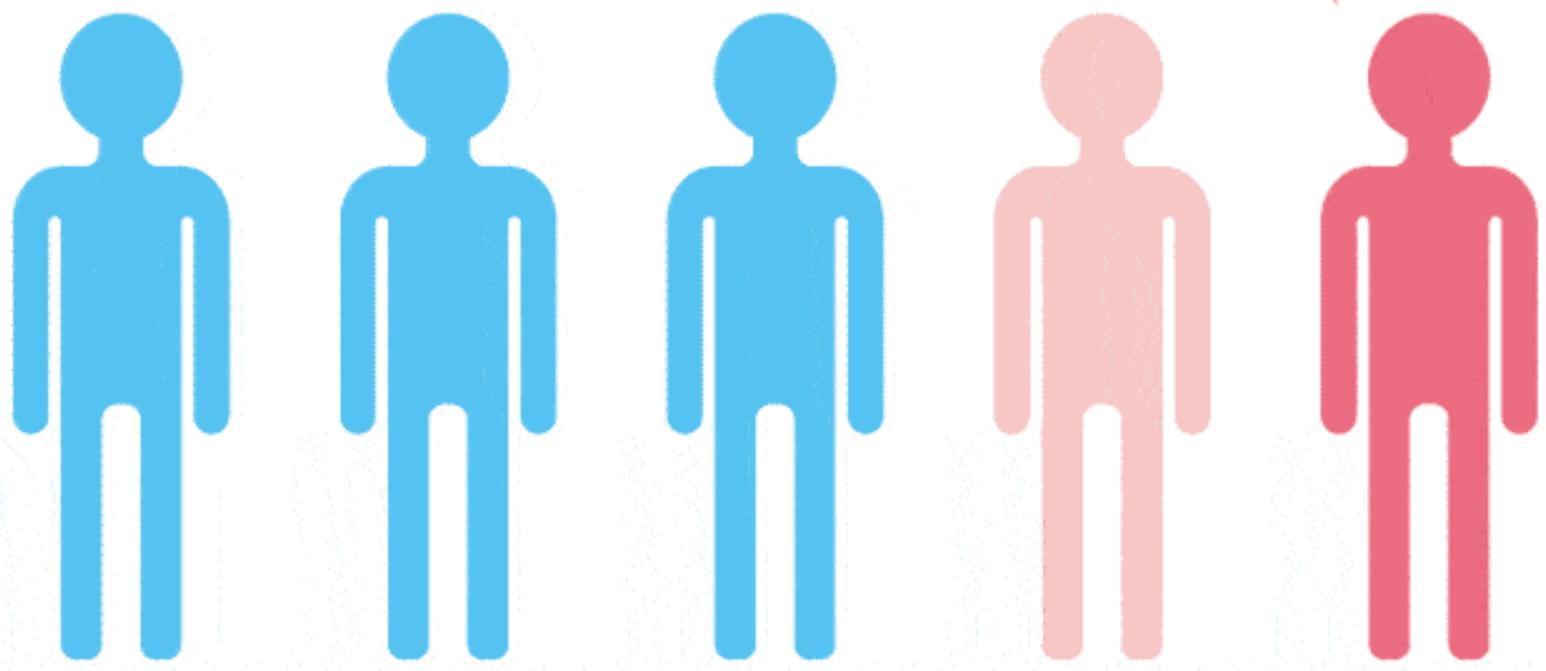
© jp.gdfreak.com

現在、施設を運営している埼玉県蓮田市も高齢化率は**32%**を超えており、
全国平均よりも高く、今後も更に高齢化が進んでいる街である。
約6万人中、約2万人が高齢者の街。

■認知症の割合

65 歳以上の 5 人に 1 人は、

認知症



認知症予備軍



**認知症が進行すると一気に
在宅生活の困難度合いが高くなる**

認知機能の低下の経過

レベル

ゆるやかにして、在宅生活が続けられるように

序章介入

短期記憶障害
見当識障害

初期から中期で進行を
食い止めるのが非常に
大事！



中期介入

混乱増大
読書計算低下
計画実行低下
季節感低下
失禁発生
妄想幻覚発生



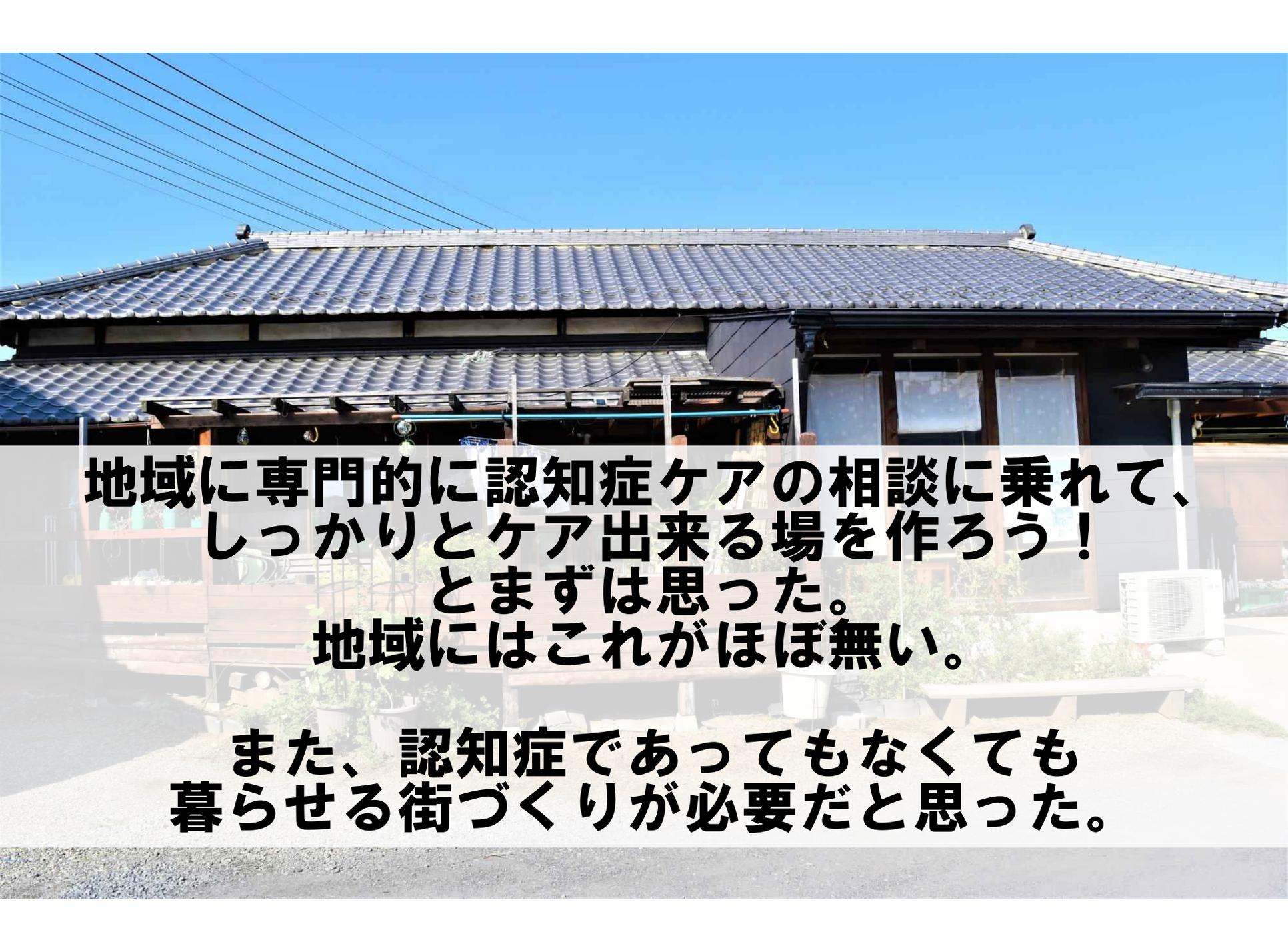
後期介入

入浴歩行障害
言語障害
興奮徘徊増加

食事忘却
排泄障害
言語不明瞭
人格変化
無動無言

- ◎記憶障害による**混乱**
- ◎理解力低下による**意欲低下**
- ◎やり方が分からない事による**自信喪失**
- ◎孤独による**不安感増大**
- ◎**認識のズレ**による**トラブル**

年数



**地域に専門的に認知症ケアの相談に乗れて、
しっかりとケア出来る場を作ろう！
とまずは思った。
地域にはこれがほぼ無い。**

**また、認知症であってもなくても
暮らせる街づくりが必要だと思った。**

約12年前



尋常小学校デイ 中重度認知症ケア
和が家の学校

約8年前

和が家の古民家デイ

いぶき



アルツハイマー型認知症のケアの場(軽～中度)
和が家の古民家デイいぶき

約4年前



認知症予防(買物難民支援と閉じこもり対策)の場
ショッピングリハビリ ひかりサロン蓮田



東武ストア蓮田メイン店の2階に出店

約3年前



地域共生 & 共生ケアの場
和が家のくらしとシゴトバディ うるひら



駄菓子屋と地域の間とおばあちゃんと



**デイに遊びに来て、お友達同士で
お化粧の練習している(笑)**

地域予防の場



地域の脳いきいき教室の運営(地域予防)の場

地域啓発の場



保育園や学校でも認知症の紙芝居を読む活動

地域連携の場



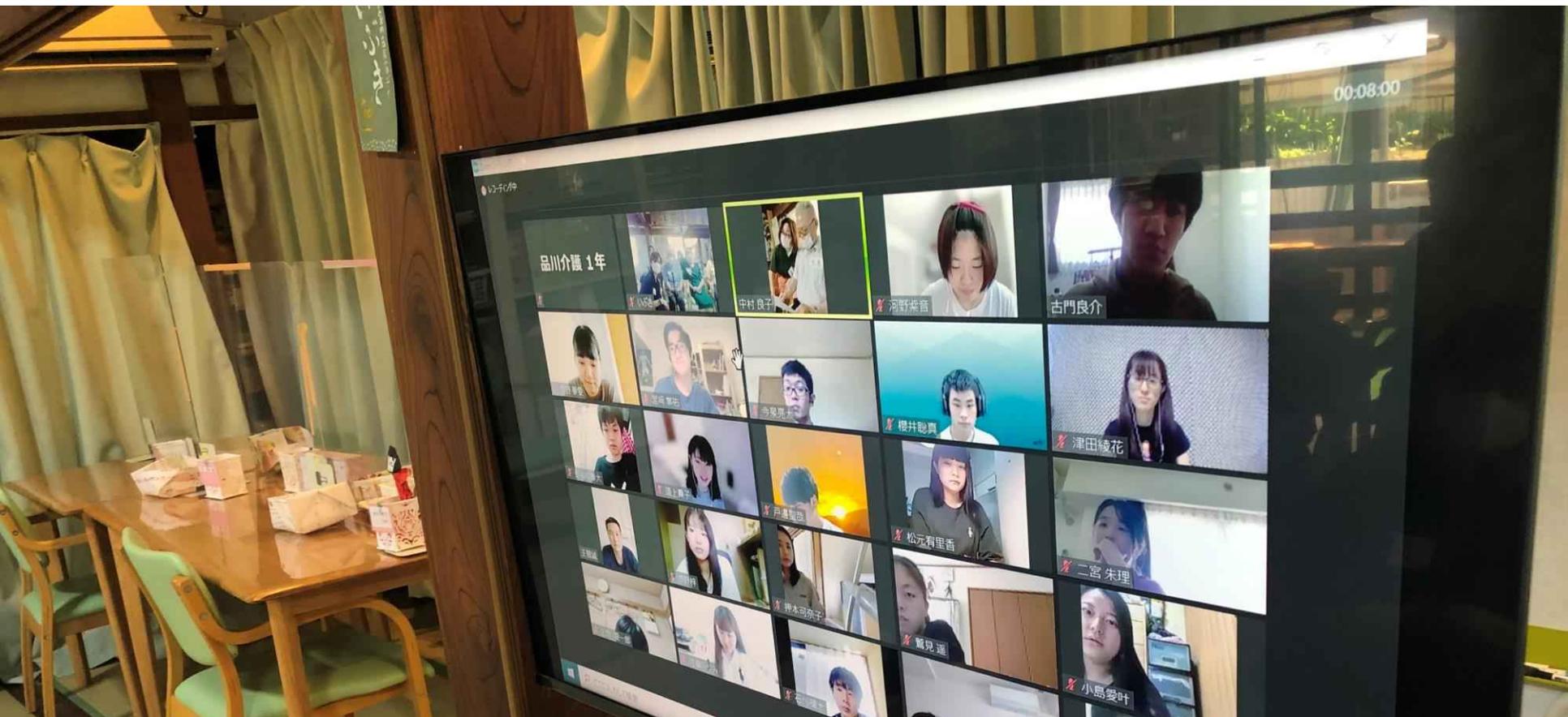
未来をつくるkaigoカフェ

「いきやすくなる彩kaiカフェはすだ」

介護職関連の方たちと2か月に1回の対話の場



学生連携の場



介護専門学校生や全国に向けた
オンライン見学会 & 授業





**認知症ケアと社会参加、そして
共生社会づくりをテーマに走ってきた**



**沢山の笑顔があふれる認知症ケア
や共生ができる場所づくりをしよう。**

和が家グループのテーマ:「地域の幸せコミュニティづくり」

2025年の高齢化社会の地域をまるごとケアするプラットフォーム作り



■地域向けの活動 <街を啓蒙するケア集団>

This section features a collage of various community activities and educational materials:

- オレンジカフェ** (Orange Cafe)
- 認サポ養成/学校向け** (Dementia Support Training/School-oriented)
- 映画上映** (Movie Screening)
- 見守り合い** (Mutual Monitoring)
- 認知症紙芝居** (Dementia Paper Puppet Show)

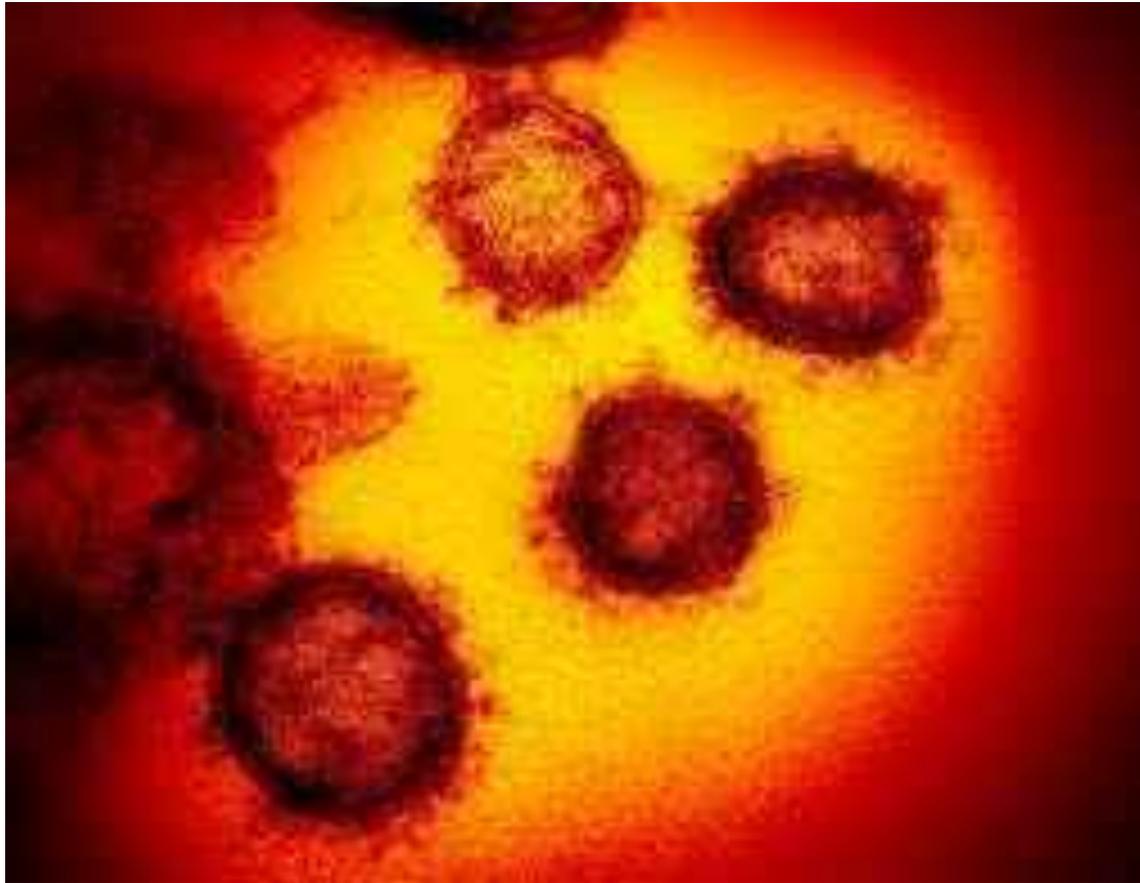
Large text overlays on the collage include:

- 認知症ケア 共生ケア** (Dementia Care, Coexistence Care)
- 地域啓発 地域教育** (Local Activation, Local Education)

Additional text at the bottom right includes:

- 認知症講座 (Dementia Lecture)
- 認知症予防講座 (Dementia Prevention Lecture)
- フォローアップ講座 (Follow-up Lecture)
- ブレインマネジャー養成 (Brain Manager Training)

しかし今は、「with コロナ禍」・・・



**コロナ時代における介護や地域の支援
に悩む日々。**



**認知症ケアとコロナ禍の
難しさを痛感しながらもうすぐ3年経過。
模索の日々は続きます。**



コロナ禍で見えてきたこと。
生活の自由度を奪っては元気にならない。
そのための環境づくりが大切だと思った。





**福祉視点の地域づくりをしていくには、
様々な先入観を大きく変える必要がある。**



認知症でも、なくても自分らしく生きる街づくりへ

①社会参加の場(共生の場)づくり

認知症当事者が社会と関わりを持てる場をつくる。
想いを実現できる場づくり。

②当事者や家族が信頼できる場づくり

認知症当事者が気持ちを出せる仲間や場が地域に欲しい

③前段階(予防)の場づくり

認知症前段階から社会とのつながりや仲間をつくれる場づくり

④地域に認知症ケアが出来る場を増やす

まだまだ実践できる認知症ケアニンが地域に足りない。

⑤認知症ケアを理解する人材育成の場づくり

専門職や地域住民が認知症当事者の気持ちを理解し、ケアが出来るようになる。認知症ケア人材育成の地域の場づくり。



これら出来る事から、和が家グループでコツコツと行っていること
をご紹介します。

①社会参加への場づくり



若年性認知症の方が制服を着て働いている



施設のサポーターという役割

①社会参加への場づくり



デイ併設の駄菓子屋で接客する高齢者

①社会参加への場づくり



バザーも1万5000円売れた。

バザーのために頑張る高齢者

①社会参加への場づくり



地域のお祭りで手作り工房として、社会参加


50
 蓮田市創設50周年

11月23日 勤労感謝の日
 9時～16時

うたやの森
 第14回の森

開催場所
 蓮田市総合市民体育館 パルシー
 蓮田市総合文化会館 ハストピア
 入場無料・雨天決行

うたやの森フェスティバル
 UTAYA NO MORI FESTIVAL

今年は場所と日時が変わります



www.utayanomori.com
 うたやのもり 検索


 蓮田市商工会青年部

主催 「うたやの森フェスティバル」実行委員会
 後援：埼玉県・蓮田市・蓮田市教育委員会・蓮田市商工会・はすた観光協会・読売新聞さいたま支局・朝日新聞さいたま総局・FM NACK5・テレビ玉・J:COM 埼玉県央

お問い合わせは……うたやの森フェスティバル実行委員会事務局 TEL 048-769-1661

※当日は入場無料ですが手紙とらますので、会場での入場はお断り下さい。蓮田市よりハストピア行きバスのご案内を掲載いたします。手紙は手紙とらますのでご了承ください。



昨年はお祭りにも出店するために手作り三味



来年は、地域の他の福祉施設とも連携したい

① 社会参加への場づくり



小学校にチューリップのプレゼント交流

① 社会参加への場づくり



**1人暮らしの高齢者の自宅の草むしりを
有償ボランティアで認知症の方が支援。**



子供と高齢者が普通に一緒に食事づくりをする



お互いがケアするされるの関係性

①社会参加への場づくり



子供は高齢者から学ぶ関係性



**親子で勤務中。ママさんには嬉しい。
できるだけ柔軟に、多様性を持つ場に。**

②当事者、ご家族による信頼できる場づくり



認知症でも出来る環境づくり

②当事者、ご家族による信頼できる場づくり



②当事者、ご家族による信頼できる場づくり





必要とされる。ここに居場所がある

③認知症前段階の場づくり



お買い物リハビリで認知症予防

③ 認知症前段階（予防）の場づくり



毎週買い物をスーパーで



仲間づくりの再構築とお買い物再開

③ 認知症前段階の場づくり



孤独感からの脱却が閉じ籠り脱出の決め手

③ 認知症前段階の場づくり



**漢字検定にもチャレンジ
6名が合格！再度自信を獲得する取組**



そして、地域福祉が幸せになる
ケアスタッフの育成もとても大事。

そして、**住民やご家族の皆さん**への普及啓発も。

**誰でも
高齢者になるのは当たり前。
物忘れも当たり前。
認知症になるのが当たり前。
そして、誰かに支えられ支える関係性**

迷惑をかける、ではなく、支え合うのがおたがいさん

それが近い将来自分の姿だと思う事。

**将来、自分がこうなるかもしれない
と思う事によって、**

社会の認識も少しは変わるのではないか。

幸せの定義

- あなたらしく、ありのまま
- なんとかなる、まあいいか(受容と楽観性)
- やってみよう(自己実現)
- ありがとう(他者への感謝とつながり)

**「幸せコミュニティづくり」が
優しい街づくりにつながる**

幸せの4因子(幸福学の権威 前野隆司先生による)



幸せのメカニズム
実践・幸福学入門
前野隆司



幸せは
コントロールできる!
脳・ロボット学者が解き明かす、そのしくみ

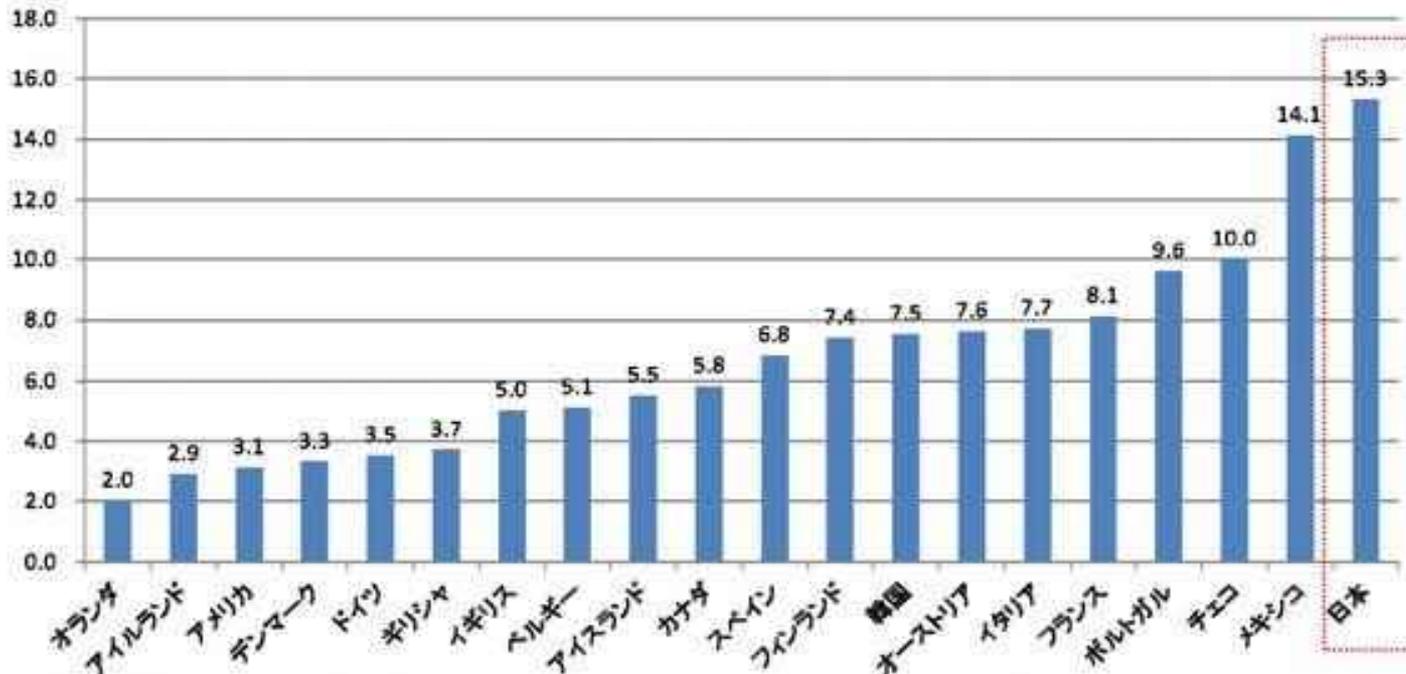


**社会との切れ目のないつながりや
活動が認知症を緩和します。**

■【社会的予防】日本の社会的孤立の現状

「家族以外の人」と交流のない人の割合（国際比較）

○ 日本では「友人、同僚、その他の人」との交流が「全くない」あるいは「ほとんどない」と回答した人の割合が15.3%あり、OECDの加盟国20か国中最も高い割合となっている。

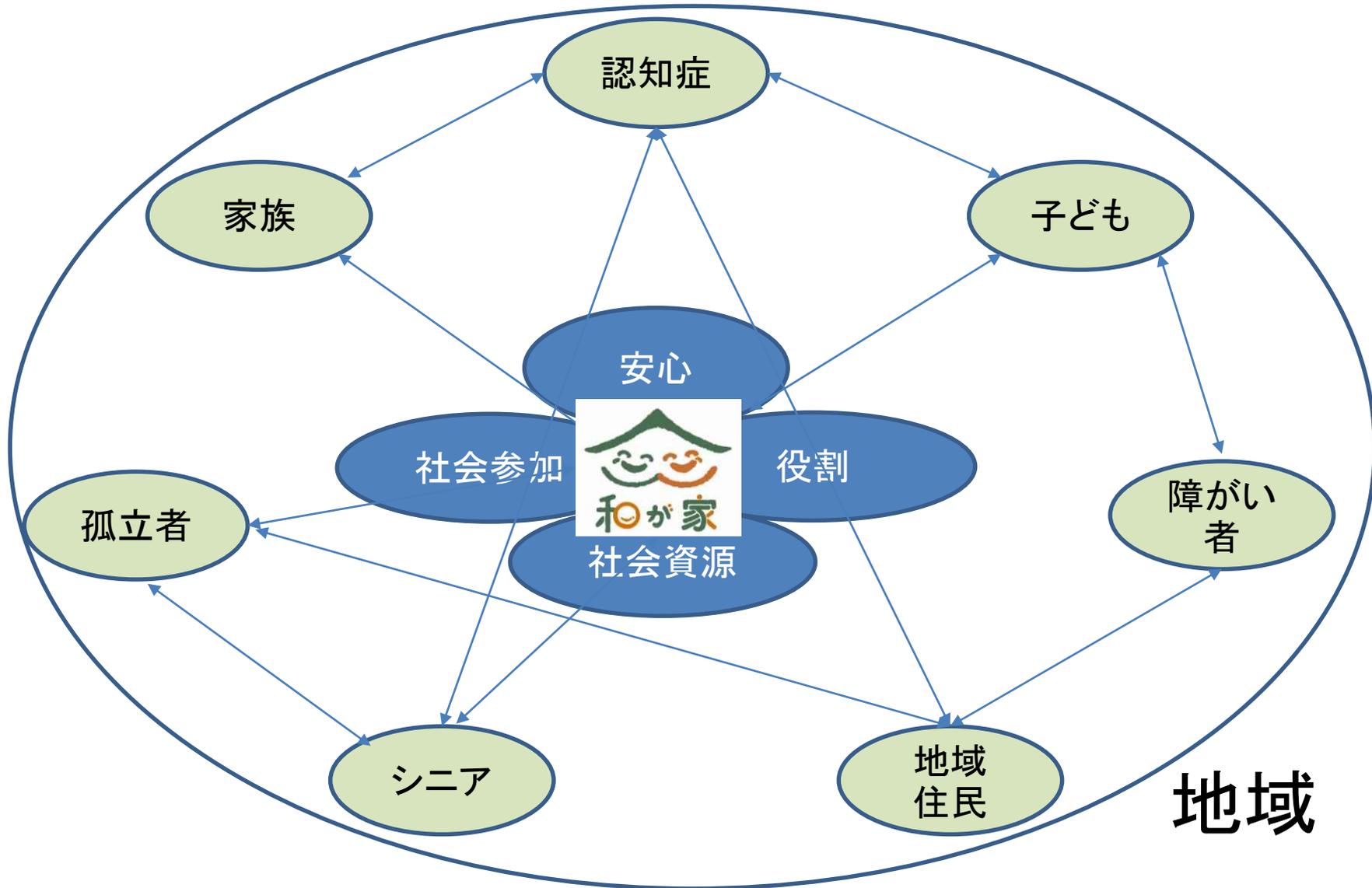


(注) 友人、職場の同僚、その他社会団体の人々(協会、スポーツクラブ、カルチャークラブなど)との交流が、「全くない」あるいは「ほとんどない」との回答が、「全くない」あるいは「ほとんどない」と回答した人の割合(合計)

(出典) OECD, Society at Glance: 2005 edition, 2005, p8

5

日本はOECD加盟国の中でも、社会的孤立は深刻な状況で、経済損失は約4.7兆円という試算も。



これからも様々な社会資源の可能性を見出し、
多様なつながりをもてる地域を創っていきたい。



**「ささえあい」の街づくりのために、
これからも地域をまるごとケアできる
ような取組みを推進していきたいと
思います。**

大切な文化や習慣を

伝え続けて、

根付かせて、

やり続けて、

出来ない時も、

疲れている時もあれど、

あきらめない。



今日のご清聴ありがとうございました。

和が家グループ 代表 直井 誠

<https://wagaya-group.jp>

Instagram : wagaya.life1